

研究課題名	当院の「授乳コンサルト」における実態調査
研究機関名	武蔵野赤十字病院
研究責任者	所属 薬剤部 氏名 梶山由美子
研究期間	(西暦) 2025年 承認日 ～ (西暦) 2025年 8月
研究の意義・目的	授乳中の薬物療法において児への影響を心配するあまり薬物療法を自己中断または授乳をやめてしまうことが散見されていた。それらを防ぐための対策の一つとして、電子カルテに授乳コンサルトというコンサルテーション枠が作成された。薬剤師は授乳コンサルトの依頼があった薬物に対し授乳への影響について調べカルテ記載している。 今回授乳コンサルトに依頼のあった妊婦の背景、使用薬剤の傾向および授乳継続の実態を把握することを目的として調査を行うこととする。
研究の方法 (対象期間含む)	2018年8月から2025年3月の間に依頼のあった妊婦140例を対象として、年齢、相談時妊娠週数、使用薬剤、基礎疾患、授乳継続の有無を電子カルテより後方視的に調査を行うこととする。
①試料・情報の利用 目的および利用方法 ②利用し、又は提供する 試料・情報の項目 ③試料・情報の取得 の方法 ④利用する者の範囲 ⑤試料・情報の管理 について責任を有する 者の氏名又は名称	①情報の利用方法：匿名化して使用する。 ②情報収集項目：年齢、相談時妊娠週数、使用薬剤、基礎疾患、授乳継続の有無。 ③電子カルテより上記を取得する。 ④武蔵野赤十字病院 研究責任者のみ。 ⑤武蔵野赤十字病院 薬剤部 梶山由美子 武蔵野赤十字病院 院長 黒崎 雅之
問合せ先	当研究に自分の試料・情報利用を停止する場合等のお問合わせ 〒180-8610 東京都武蔵野市境南町1-26-1 武蔵野赤十字病院 所属 薬剤部 氏名 梶山由美子 TEL：0422-32-3111（代表）6771（事務局内線） FAX：0422-32-3525